

No.  
**133**

北里大学病院ニューズレター  
「窓」

# Mado



診療科紹介 整形外科

**患者さんのQOLを保てるように  
運動器の機能再建を目指します**

診療科紹介

整形外科

# 患者さんのQOLを保てるように 運動器の機能再建を目指します

北里大学病院 整形外科 科長 井上 玄

## 高い専門性をいかし幅広い領域を診療しています

当院が特定機能病院ということもあり、当科でも重症度や特異性が高く特殊な治療や手術を必要とする患者さんが近隣だけではなく全国から来られています。一方で地域医療も病院の理念に掲げており、近隣を中心に脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニア、変形性関節症といった一般的な疾患も受け入れています。

首から下の骨や関節に関わる部分は全て整形外科の領域で、脊椎、各関節、手の外科、外傷、小児など領域ごとにチームを編成して診療にあたっています。（一部、特殊な骨軟部腫瘍などは専門機関へ紹介させていただく場合があります。）

どのチームも専門的な知識・技術を持っており、安全に配慮した最先端の医療を提供できるよう、心がけていますが、外傷チームを独立した専門チームとして組織していることは当院の大きな特徴です。外傷とは大まかに骨折や脱臼などの怪我を指しますが、全国的に大学病院は一般的な外傷を診ないということが以前は多くありました。そのなかで当科は大学病院開院の当時から外傷を専門的に診る診療チームがあり、救命救急・災害医療センターとも密に連携して、外傷に対して最良な医療を提供しています。

## 気にしてほしい脊椎疾患とは

私の専門領域が脊椎のため、当科で積極的に治療している脊椎疾患をご紹介します。

### 〈脊柱側弯症〉

脊柱側弯症（以下、側弯症）は、脊椎が捻じれて背骨が曲がってしまう疾患です。成長期に突然発症することが多く、進行すると見た目の変形だけではなく呼吸器などにも問題を引き起こす可能性があります。軽度であれば経過観察で診ていきますが、進行すると装



具療法や手術で矯正しなくてはなりません。当科は全国的な側弯症の拠点病院の一つです。神経筋原性側弯症や症候性側弯症といった比較的まれで特殊な側弯症の治療にも積極的に取り組んでおり、治療実績も豊富です。

側弯症は、50～100人に1人程度のごく一般的な疾患です。現在、全国の小中学校では運動器検診のなかにも側弯症の検診も組み込まれています。早期発見・早期治療が重要になりますので、検診に限らず側弯症の指摘を受けたお子さんがいれば、進行状況に関わらず一度ご相談ください。（図参照）

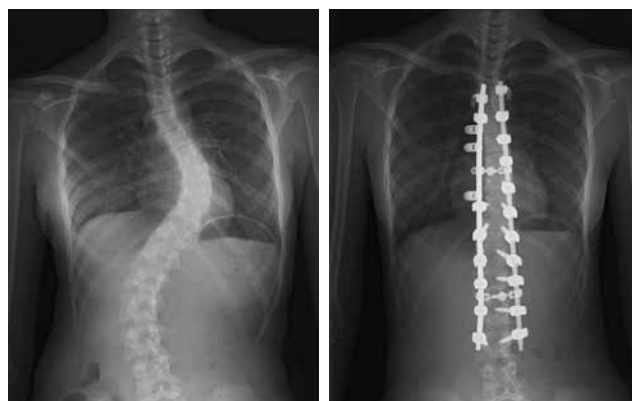


図 脊柱側弯症の手術 左：術前／右：術後

一定以上に進行した側弯症に対しては、金属を用いた矯正固定術を行います。手術により、背骨がまっすぐになるだけでなく、ウエストライン、肩の高さ、肩甲骨の隆起などの体の非対称が矯正されます。

### 〈脊柱管狭窄症〉

脊柱管狭窄症は、背骨の年齢的な変形に伴い背骨のなかを通っている神経が圧迫を受けることによって四肢や体幹にしびれや痛み、麻痺がおこって力が入らなくなるなどの症状により日常生活に支障が出る疾患です。高齢になるにつれ症状があらわれますが、早ければ40～50代くらいから症状が出てくることがあります。

治療は、基本的にまず、手術以外の保存療法を行います。内服薬での治療や、リハビリテーション、ブロック注射などで症状が軽減する場合も多いです。これらの治療で症状が改善せず、重症度が高い場合に手術を行います。同じように画像で異常があっても、人によって症状がほとんどない方とものすごく重症度の高い方があるのが脊柱管狭窄症の特徴です。画像所見が良くないからといってすぐに手術というのではなく、ある程度の期間をもってさまざまな保存療法を試して合う治療が見つければ手術をしなくても回復は見込める場合も多いです。また、手術にも多くの選択肢があり、最適な術式を選ぶことが重要になります。

### 受診すべき腰痛とは

一般的に整形外科の主訴で一番多いのは圧倒的に「腰痛」で、腰の痛み悩む人は日本で3千万人いると言われています。

痛みがどの程度の重症度で、どういった原因で起こっているのかは、ご自身だと分からないことが多いかと思えます。例えば、重いものを持った拍子にグキッと腰を痛めたという症状でも、若い方であれば3日も経てば9割以上の方が良くなります。そのような場合は医療機関で検査したり治療を受けたりする必要はありません。

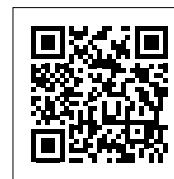
しかし、同じ様な場面で高齢の方が腰や背骨を傷めた場合、骨粗しょう症による椎体骨折の可能性があります。その場合、数週間経っても良ならず、動けない期間が長期になると筋力、体力が衰えて健康寿命にかかわってきますから、痛みが強かったり、長く続いたりしていたら整形外科を受診して検査を受けてください。そのほかあらゆる年代において、だんだん悪化

する、じっと安静にしても痛む、夜痛くて眠れない、発熱を伴う、といった腰痛は、すぐに治療すべき疾患が隠れている可能性もあり、受診をおすすめします。

### 80歳を超えても元気に歩ける手助けを

年齢とともに体力が衰えて病気になりやすい状態のことをフレイル、運動器の疾患が原因で虚弱になることをロコモティブシンドローム（以下、ロコモ）といいます。昨年、日本医学会連合が「フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言」を提言しました。内容は80歳を過ぎても歩いて外出できるような健康度を目指しましょうというものです。日々医学は進歩しているはずなのに日本では現在、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」である健康寿命と生命の寿命との差が10年程あって、ここ最近縮まっています。

その差を埋めるのが私たち整形外科医の大事な役割だと思っています。高齢の方に限らず、あらゆる世代の患者さんの衰えている運動器の機能を再建して、その方が本来動ける活動レベルを取り戻し、ADL（日常生活動作）、QOL（生活の質）の水準をできるだけ高くするお手伝いをしたいと考えています。



整形外科HP

### 地域の医療関係者の方へ

特殊な疾患、手術が必要な疾患以外にも、診断に難渋する症例、保存療法の経過が良くない症例などがありましたら、当科で貢献できることがあるかと思えます。幅広く患者さんを受け入れていますので、患者さんのご希望に応じてご紹介ください。

また、手術適応の有無関係なく、積極的に側弯症の患者さんを受け入れております。当科には日本側弯症学会の評議員が3名おり、側弯症の初期から専門的な治療やアドバイスを提供しております。側弯症患者さんの治療方針等で相談がありましたらいつでもご紹介ください。

### Profile / 井上 玄 (いのうえ げん)

- 1999年 千葉大学医学部卒業、2007年 千葉大学大学院修了、学位(医学博士)取得、2007年 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校留学、2019年 北里大学医学部整形外科 診療教授。
- 医学博士、日本整形外科学会(代議員、専門医、認定脊椎脊髄病医)、日本脊椎脊髄病学会(認定指導医)、日本専門医機構認定脊椎脊髄外科専門医、日本側弯症学会(評議員)、日本成人脊柱変形学会(幹事)など

## 医療機関専用のご予約について

医療機関専用電話 (担当) トータルサポートセンター・事務

☎ 042-778-9988

受付時間 月～金 午前8時30分～午後4時30分  
土(第1・3・5) 午前8時30分～午前11時

事前予約サービス(診察予約)ご利用対象の診療科

2023年7月1日現在

消化器内科(上部・下部・胆膵・肝臓)

内分泌代謝内科

循環器内科

腎臓内科

脳神経内科

膠原病・感染内科

呼吸器内科

血液内科【完全予約】

脳神経外科

眼科 ●10歳以下の小児・弱視斜視限定【完全予約】

泌尿器科 ●前立腺癌で放射線密封小線源療法を希望する患者限定

産科 ●ハイリスクの患者限定

婦人科【完全予約】

一般・消化器外科 ●上部消化管外科疾患 ●下部消化管外科疾患

小児科

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/introduction/index.html>)をご覧ください。

※完全予約以外は紹介状を持参の上、直接ご来院もしくは「予約センター：当院の診察券をお持ちの患者専用」にてご予約をおとりいただくことも可能となっております。

※ご紹介用の「外来担当表」は病院ホームページ([https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/download/section/department/gairai\\_syokai.pdf](https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/download/section/department/gairai_syokai.pdf))に毎月掲載しております。

検査サービス

2023年7月1日現在

生理検査

MRI検査

核医学検査

CT検査

PET-CT検査

内視鏡検査

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ(<https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/concern/kensa/index.html>)をご覧ください。

セカンドオピニオン・オンラインセカンドオピニオン

2023年7月1日現在

医療機関からの申込制となっております。

※申込書及び手順につきましては病院ホームページ([https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/visitor/gairaishinryo/second\\_opinion.html](https://www.kitasato-u.ac.jp/khp/visitor/gairaishinryo/second_opinion.html))をご覧ください。

## 2022年4月から、消化器内科にてオンラインセカンドオピニオンを開始しております

当院では株式会社MICIN(マイシン)が提供する「オンライン診療サービスcuron(クロン)」という専用のアプリを使用しております。当院にお越しいただくことなく、患者さんのご都合の良い場所でセカンドオピニオンを受けていただくことができます。詳しくはトータルサポートセンター・事務までお問合せください。